

弘法大師生誕
1250年記念



愛媛県指定有形文化財『弘法大師像』（太山寺蔵）

愛媛大学文系研究センター合同シンポジウム

弘法大師信仰と地域社会

日時 令和5年9月24日(日)
13:30~16:30 (開場 13:00~)

参加申込締切
9月20日(水)

会場 愛媛大学南加記念ホール (城北キャンパス内)

定員 150人 (先着順) ※定員になり次第、受付を終了させていただきます。

開催方法：会場及びオンライン(Zoom)による併用開催(要事前申込)

主催：愛媛大学社会連携推進機構

後援：愛媛県、松山市

プログラム

【開会挨拶】若林 良和 (愛媛大学 理事・副学長/社会連携推進機構長)

【基調講演】守田 逸人 (香川大学教育学部教授)

「善通寺と善通寺地域一帯をとりまく弘法大師の足跡」

【報告1】福田 安典 (日本女子大学文学部教授/愛媛大学俳句・書文化研究センター研究協力者)

「空海と平賀源内」

【報告2】寺谷 亮司 (愛媛大学地域共創研究センター長)

渡邊 洋心 (愛媛大学大学院人文社会科学部研究科・産業システム創成専攻)

「松山市久谷地区におけるお接待を活用した
地域コミュニティの活性化」

【報告3】胡 光 (愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター長)

「弘法大師誕生地をめぐる係争」

参加
無料

参加申込み方法は裏面

開催趣旨

愛媛大学では、社会連携推進機構地域文化研究部門に「地域共創研究センター」「四国遍路・世界の巡礼研究センター」「俳句・書文化研究センター」の3つの文系研究センターを設置しています。これまで文系研究センター合同で「松尾芭蕉」「三輪田米山」をテーマにシンポジウムを開催しました。本年は、四国遍路の礎を築いた弘法大師（空海）の生誕1250年にあたり、四国内外で記念行事が開催されています。本学においても、四国に生まれ、四国が育んだ郷土の偉人である弘法大師と地域社会の関係について、歴史学、文学、地理・社会学など多彩な視点で考察します。



平賀源内著『風来六部集』の遍路姿



弘法大師生誕地 善通寺



接待所 坂本屋（松山市 久谷地区）



大師が修行した石鎚山

写真提供：佐藤 守



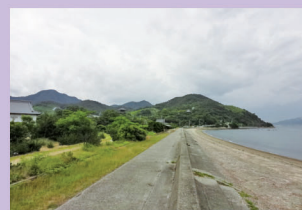
『風来六部集』の平賀源内像



幼少期に大師が遊んだ仙遊寺



大師が修行した出釈迦寺奥之院



弘法大師誕生地を争う
海岸寺の遠景

参加については以下のフォームからお申込みください。

URL <https://forms.office.com/r/dTaP0gBU9S>

■お問い合わせ 愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室

メール：chiki@stu.ehime-u.ac.jp

TEL：089-927-8512 ※月～金（祝日を除く）9：00～17：00



* ご入力いただいた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡以外に使用いたしません。

* 大学構内には駐車スペースはございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

* オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。※Wi-Fi環境を推奨